



令和 8 年 1 月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町 15
亀岡市立亀岡小学校
中舎 ゆう子
印刷所 樹天 声 社

「やってみよう」の二歩を



学校長 中舎 ゆう子

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって、健康で幸多き一年でありますようお祈りいたします。

さて、皆様は初夢をご覧になりましたか。江戸時代より、初夢で縁起の良い物として「富士」「鷹」「茄子（なすび）」と言われてきました。これらは「富士」「無事」「鷹」「高く」「茄子」「成す」という縁起を担いだ語呂合わせからきたものだそうです。そして「無事に過ぎ、目標や気持ちを高くもって事を成す一年にしたい」との願いが込められているのです。江戸時代の人々の洒落っ気と新年に対する期待が垣間見られる言葉だと思えます。

ところで、子ども達は、新年を迎えるにあたり、どんな夢や目標をもったのでしょうか。これから、未来を生きる子ども達には、「自ら問いを立て、挑

戦し続ける力」が求められると思います。自分で自分のやりたいことを見つけて、何度失敗しても諦めずに挑戦し続ける、そんな力が育つように子ども達を応援していきたいと思っています。ちょっとした「やってみよう」という気持ち……。その一歩には大きな意味があります。うまくいかないかもしれないけど、それでもやってみる。そんなふうに自分の足で前に踏み出せるよう教職員一同、子ども達が安心できるサポートをしていきたいと思っています。

正しさに近づくことだけではなく、自分なりのやり方で、試して、間違えて、またやってみる力を育てていくことを大切にしたいと考えています。

三学期も子ども達に寄り添いながら全力で関わってまいります。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをどうぞ

1月行事予定表

日	曜	学 校 行 事
1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	始業式 短縮4校時(12:00下校)
8	木	短縮4校時(12:00下校) 学力調査(6年のみ)② 給食開始 給食あり4校時(1~5年 13:10下校) 6年生ミュージカル鑑賞会(長岡京市文化会館 14:00頃 学校到着) 学力調査(1~5年)②
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	1・2年4校時授業(13:10下校) 3~6年5校時授業(14:15下校) 学力調査(全学年)①
14	水	1・2年4校時授業(13:10下校) 3~6年通常授業開始 発育測定(低)
15	木	1・2年5校時授業(14:15下校) 発育測定(高)
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	児童委員会Ⅶ⑥
20	火	
21	水	かめのこトークⅤ⑤
22	木	フッ化物洗口(3学期開始)
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	クラブⅦ⑥(3年クラブ見学)
27	火	
28	水	全校A5校時(14:35下校)
29	木	フッ化物洗口
30	金	入学児童物品販売(15:40~16:30)
31	土	

図書ボランティア募集！

亀岡小学校では、図書ボランティアを募集しています。

興味のある方は、

学校へのお問い合わせを
電話(22-0155)
FAX(22-0281)



よろしく願いたします。

2月の主な行事

- 2日(月) クラブ⑥(3年クラブ見学)
- 4日(水) 全校A5校時(14:35下校) 全校集会
- 5日(木) フッ化物洗口
- 9日(月) クラブ⑥(最終)
- 11日(水) 建国記念の日
- 12日(木) フッ化物洗口
- 14日(土) 土曜参観② 特別2校時(10:30頃下校予定)
東部区教育研修会(11:00~12:00)
- 16日(月) 代休日
- 18日(水) 全校4校時(13:10下校)
- 19日(木) フッ化物洗口
- 23日(月) 天皇誕生日
- 25日(水) 全校A5校時(14:35下校)
- 26日(木) 6年生を送る会②③ 制服販売 6年生卒業を祝う会

「子どもの学びとそだち かめ小さ
い」でがんばったよ

一ねん

ぼくは、れんしゅうのときから、ステージの上でうごかないように気をつけていました。本ばんでは、大きいこえをだしてじぶんのことばをいうことをがんばらうとこもっていました。本ばんでは、けんばんハーマニカをじょうずにふけました、ぼくのせりふは、大きいこえで、うしろまできこえていたとおもいます。

一ねん

ぼくは、れんしゅうで、うたをおぼえるのががんばりました。けんばんハーマニカがきれいにひけるようにれんしゅうしていました。おうちの人にほめてもらえるように、大きなこえでがんばってセリフをいって、びつくりさせようとおもっていました。本ばんは、うたをがんばり、けんばんハーマニカもじょうずにひけました。校かも大きいこえでうたいました。

一ねん

うたのれんしゅうをがんばってしたら、うまうたえるようになりました。タンブリンをえんそうするので、れんしゅうからうまうたえるようにがんばっていました。本ばんは、れんしゅうよりもよいうたやダンスを見せて、おおくの人をおどろかせたいとおもっていました。本ばんは、「3大のマーチ」をじょうずにできました。れんしゅうよりもじょうずにできていたし、ダンスはみんなそろっておどれていたなとおもいました。ぼくは、ともだちのはっぱよりも、まっすぐまえを見てきけました。

一ねん

ぼくは、きんすうはかせをしました。れんしゅうでがんばったことは、きんすうはかせのせりふをがんばっていうこと、ふらふらないこととです。本ばんは、きんすうはかせをがんばること、まえをむいてはっぱうしろとおもっていました。

た。本ばんは、きんすうはかせを大きなこえでええ、まえをむいてしっかりとはっぱうしろすることができました。がんばってよかったです。

一ねん



わたしは、せりふを大きなこえでいうこと、けんばんハーマニカのれんしゅうをがんばりました。本ばんでも、まちがえずにひきたいとおもってやりました。本ばんは、せりふを大きなこえでええ、ダンスをじょうずにおどしました。けんばんハーマニカをじょうずにひけました。きんちようしたけど、えがおでがんばりました。

一ねん

ぼくは、大きなおふのいぬをやりました。れんしゅうでは、大きなおふのせりふをまえをむいていえるようにがんばりました。本ばんは、もっと大きなこえでいいたし、もつときれいなこえでいいたしとおもっていました。

本ばんは、大きなこえでいいたし、大きなおふでは、はやくしゃべらないようにゆっくりしゃべりました。ダンスでは、じょうずにダンスができました。

一學きをふりかえって、がんばったことをかきました。

一年

わたしが、一學きにがんばったことは、算数の三角形と四角形です。直線を上手にかくことができました。えんぴつをななめにすると上手にかけました。

一年

わたしは、一學きにかけ算がとくになれるようにがんばりました。八のだんがが手だったけど、たくさんれんしゅうしてどんどんとくになりました。

いになりました。

一年

わたしは、かけ算をがんばりました。はじめは、かけ算ができなかったけど、どんどんれんしゅうしていくと、いつのまにかできるようになっていました。

一年

一學きがんばったことは、五十メートル走です。りゆうは、れんしゅうではいつも一いたったけど、本番は一位になったからです。

一年

わたしはうんどう会をがんばりました。おうえんしているときが楽しかったです。みんなで声を出しているときが楽しかったです。つきもがんばりたいです。

一年

うんどう会のかけっこをがんばりました。まけてしまったけどとても楽しかったです。来年は勝ちたいと思います。みんなにおうえんしてもらってとてもうれしかったです。つきはみんなのことをおうえんします。

理解教育「北本さんと遊ぼう」

車いすで生活されている北本さんに来ていただき、みんなで考えた遊びをしました。北本さんと出会い、三年生のみんなはたくさんのお話をきかせてもらいました。

三年

やっぱり北本さんは、大変なことがあつたきんあるんだなと思いました。遊びもなんでもできるわけじゃない。それでも、今日は、安全な遊びができたし、北本さんも楽しく遊べたからわたしも楽しめました。車いすでは、なんでもできないわけじゃない。楽しいこと、うれしいこともたくさんあるんだなと気づきました。

三年

北本さんができることやあそびは少ないかもしれないけど、その中でみんなとたのしくあそべていて、いいなと思いました。車いすの人や、しょうがいがある人の話ははじめて聞いたけど、大変な時も、大変じゃないときもあるんだなと思います。びつくりしたことは、車いすをおすことです。たいへんでした。しょうがいがある人も、みんなも、同じようにたのしくくらせたいと思います。

三年

北本さんとの交流では、ドッチボールや色おにをしました。ドッチボールをしているときに、すてきな事をしてる友達を見ました。それは、北本さんをボールから守っていた人です。北本さんは車いすに乗っているから守ろうとしてくれる人がいました。そんな友達を見てわたしも「あんな風にできるようにになりたいな」と思いました。わたしは、今回北本さんと遊べて本当にうれしかったです。

三年

はじめて北本さんの話を聞いたとき、北本さんは車いすに乗っているからいっしょに遊べる遊びがあるのかわからなかったけれど、みんなであんな遊びを北本さんが楽しんでくれてうれしかったんです。あと、自分もいっしょに遊べたことがとてもうれしかったし、楽しかったです。北本さんが楽しめるようにいつもとはちがうルールであそんだけれど、うまくいったし、もっともつと北本さんのような人とも遊んでみたいと思います。そして北本さんと同じように車いすに乗っている人を助けたいと思いました。

総合的な学習の時間「共に生きる」

四年生は四月から、「共に生きる」をテーマに福祉について学びを深めています。二学期はたくさんさんのゲストティーチャーとの出会いが実現し、交流や体験を通して気づいたことや考えたことをまとめました。

きました。クラスや学年全体でも、上パートと下パートで分かれて歌っている良さを出すことができたと思います。

ただ、課題点もありました。朝学習をやっていた台本暗記テストはずっと高得点を取れていたけど、いざ練習をするとなると間違えたセリフを言いそうになって不安になったり声が小さくなったりしたこと。つまり、心の弱さがまだまだあるということです。そこは、もっと公に強くなるべきだし、これから改善が必要だと思いました。これからは亀小祭の練習期間で成長できたことを学校生活で活かし、見つけた課題は改善できるように頑張っていきたいと思っています。



子どもの学びと育ち亀小祭をふり返って

六年

私は最初は七十人いるから、「自分が歌ったり呼びかけをしたりしなくてもいいだろう。」と思っていたけど違いました。毎日練習の日々が大変でやめたくなったりすることもあったけど、先生の言葉が変わりました。先生が、「自分がいなくてもいいだろう。ではなく、自分は七十人のうちの一人という責任感をもちなさい。」と言っていて、確かにみんなが自分がいなくてもいいだろうと思っていれば何も始まらないことに気づけたから、成功しました。そういうところに気づけたことが成長だと感じました。自分は勇気もあまり出ないし、人前で目立つことが苦手でした。でも今回の学びと育ちでは、一人のセリフがあり、難しかったけれど、大きな声で自分のセリフや学年、クラス、男女で分けられるところのセリフが言えたから嬉しかったんです。でも成功したのは、近くで見守ってくれる家族、教えてくれる先生、応援してくれる友達のおかげなのでしっかりと感謝しなければならぬと思います。もう少しで中学生になるから、もっと成長して、自分の中の課題をやり遂げたいです。中学生になると、仲間や友達が増えるからその友達とも一緒に頑張りたいです。

「五年生の素敵な子どもたち」

五年担任 坂尾 志久真

昨年度、亀岡小学校へ赴任し、四年生の担任を受け持ちました。今年度は、五年生を担当することにになり、素敵な子どもたちと共に、また楽しい充実した日々を送ることができています。

あつという間に五年生の二学期が過ぎ、残すところ三学期のみとなりました。後、数ヶ月すると、五年生も最高学年となり、この亀岡小学校のリーダーとして、下級生を引っ張り、そして創り上げていく立場になります。「中学年のリーダーとして……」ということ意識して過ごしていた四年生だったあの子どもたちが、来年度「亀岡小学校のリーダーとして……」という意識をもって学校を創り上げていく立場にまで成長したのだと思うと、感慨深いものがあります。四・五年生の素敵な姿を目の当たりにして、思うことがあります。それは、この学年にしかもつことのできない良さがあることです。本当にたくさんあって、言い出すと切りがありませんが、特に思うのは、三つあります。

「一生懸命」

一生懸命は、誰にでもある素敵な一面です。しかし、五年生の子たちは、学年としての一生懸命さをもっています。「みんなで成功させよう」と一致団結したときに溢み出る一生懸命さ。人の心が動かされるほどの一生懸命を感じることもできます。特にそう感じたのが、野外学習。一度きりの野外学習を必ず成功させようと、役割ごとの取り組みでは、一人一人が責任をもって仕事に取り組み姿が見られました。現地では、亀岡小学校の代表としての意識を常にもち、礼儀正しく過ごす姿がありました。正に、この学年にしかない一生懸命さを見ることができた時間でした。

「人の痛みを感じる」ことができる」

五年生の子たちの優しさは、本当に見ていて気持ちがいいものがあります。友達同士のケンカ。ケンカを止めに入ることはもちろんのこと、どうしてそうなったのか、何が悪かったのかなど、お互いの気持ちを聞いてあげたりアドバイスをしたり……どちらの味方ではなく、お

互いの味方として接してくれる優しさがありました。駅伝練習での場面。しんどい練習の中、「後もう少しがんばれ！」よく頑張ったね、お疲れ様！「自分もしんどいはずなのに、友達のことを気遣う姿。登校途中、急に二年生がけいてしまった。「大丈夫？ ゆっくりでいいから学校にいつて保健の先生に見てもらおう。」そつと声をかけたり、かばんを持ってあげたり。自分がされて嬉しいことは、友達にもしてあげよう。自分がされて嫌なことは、友達にはしない。「人の痛みを知っている」からこそ、できることではないでしょうか。

「みんなで作る雰囲気」

ノリの良さは、天下一品。どんなことでも全力でやり切る。「全力でがんばる」ということを本気になってやり切る子どもたちです。学習発表会が、その良さを最大限に生み出したと思います。高学年の立場として臨むこととなった五年生の学習発表会。四年生とは違う一面を見せるため、明るさに加えて高学年としての美しさを交えて発表をしました。笑いを交えた発表、学習内容をしっかりと伝える発表。高学年としての美しさを交えた歌声。四年生の時とは違う姿を見てくれました。常にアップビートをし続ける「ノリの良さ」、高学年としての美しさ。来年度最高学年としての姿が本当に楽しみです。

「何事も経験」という言葉が言われるように、様々な経験を積んで人は成長していきます。今、五年生はたくさんの経験を積み、成長を遂げています。今は違い、さらに責任を担う最高学年。亀岡小学校のリーダーとして、学校を創り、引っ張っていく立場になります。最高学年としての素晴らしいスタンスが切れるよう、三学期に更なる成長を遂げてほしいと思っています。来年度、どのような素晴らしい姿を見せてくれるのか。今から、本当に楽しみです。

それぞれの輝き

生徒指導主任 荒瀬 大樹

一年生 「スリッパはきれいに並べないと。」

とある休み時間の「コマ。きれいにスリッパを並べ、やった！きれいになった。」と誇らしげに教室に戻っていました。

二年生

「大丈夫？ 重たいよね。一緒に運ぼうよ。」とある体育の時間の「コマ。片付け中に仲間を気遣い、声をかける姿がありました。

三年生

「……二人一人がもくもくと掃除に取り組み姿。」とある掃除時間の「コマ。チャームが鳴るとすぐにほうきを手に取り、一生懸命掃除に取り組む姿がありました。

四年生

「運転手さんや船頭さんにとっかりと感謝を伝えよう。」とある校外学習での「コマ。バスを降りる際に、一人一人が丁寧に自分の思いを伝える姿がありました。

五年生

「拭き掃除は自分でやっているよ。当たり前だよ。」とある図工の時間の「コマ。やらされるのではなく、みんなのために進んで取り組む姿がありました。

六年生

「亀小のみんなのためにできることは何でもする。リーダーだから。」とある行事での「コマ。自分たちの発表だけでなく、実は行事を裏からたくさん支えてきた六年生。誰かの役に立つことに喜びを見出し、全力で力を発揮する姿がありました。

これらのエピソードは私が数か月見てきた子どもたちの輝きのほんの一部です。運動会や亀小祭での発表などでは、本当に全力を出して頑張っています。そんな輝きに目を向けつつ、私たちは日々の生活の中で、それぞれの輝きを見つめられるようなリーダーを持つていなければならぬと感じます。子どもたちはそれぞれの場所で、様々な輝きを見せてくれています。そんな一つ一つの輝きに目を向け、みんなが認め合えるような亀小を、これからも大切にしていきたいと思っています。

